

平成 24 年度第 1 回三重県障がい者支援施策総合推進会議開催記録

開催日時	平成 24 年 7 月 17 日 (火) 9:35 ~ 9:50
場所	本庁舎 3 階 プレゼンテーションルーム
出席者	知事、石垣副知事、植田副知事、危機管理統括監、各部長、会計管理者兼出納局長、企業庁長、病院事業庁長、教育長、警察本部長、医療対策局長、こども・家庭局長、スポーツ推進局長、南部地域活性化局長、観光・国際局長
事項	<p>【事項】</p> <p>1 雇用の場の拡大と就労への総合的支援について</p> <p>2 災害時に援助を必要とする障がい者への的確な対応について</p> <p>3 ライフステージに応じた途切れのない相談支援体制の充実・強化について</p> <p>4 スポーツ・文化活動への参加機会の充実について</p>
審議経過 審議結果	<p>説明</p> <p>1 ~ 4 について、資料に基づき事務局から説明</p> <p>意見・質疑</p> <p>(雇用経済部長)特例子会社については、親会社の景気動向に左右される面があり、苦労しているが、今後、商工会などを通じた PR を予定している。それにあわせ、共同受注窓口についても活用を PR するなど、雇用経済部と連携することにより、共同受注窓口の PR 効果が高まると考える。</p> <p>(事務局)共同受注窓口のパンフレットに掲載されている商品を、例えば県のイベントグッズとして活用するなど、パンフレットや後日配付予定の単価表などを参考に、各部で共同受注窓口を活用してほしい。民間企業への PR については、雇用経済部と連携させていただきたい。</p> <p>(農林水産部長)農福連携の取組を深めていきたい。農業大学校にも講座を設けて進めていきたい。</p> <p>(教育長)パーソナルカルテを今年から活用していく。今回の会議資料については、部局単位になっているが、全庁的な取組が分かるような資料づくりをお願いしたい。</p> <p>(子ども・家庭局長)草の実川ビルディングセンターとあすなろ学園の一体的整備を進める中で、障がい者への途切れのない支援を施策として進める。</p> <p>(防災対策部長)防災について、要援護者対策が重要という認識を強くもっている。避難所運営マニュアル改定の検討を行う際に、障がい当事者の方に委員として入ってもらっている。</p> <p>(石垣副知事)企業の障がい者雇用率は低い。企業にも意識を変えてもらい、社会的貢献という観点を持ってもらう必要がある。</p> <p>(知事)「福祉事業所の営農状況アンケート踏査結果」はよくできているので、各部においても是非読んで、参考にしてほしい。また、予算の執行が遅い事業があるようなので、必要な調整を行うなど、連携して早期に事業を実施してほしい。</p>